

**令和３年度 京都市明るい選挙推進協議会総会
書面開催結果について（主な意見等）**

１ 第３１期京都市明るい選挙推進協議会会長の選任について

村山皓委員に御就任いただく。

２ 第３１期京都市明るい選挙推進協議会副会長の指名について

西澤由隆委員及び布部拓男委員に御就任いただく。

３ 「令和２年度京都市明るい選挙推進事業実施状況報告書」について

- ・ コロナ禍にあつて学校活動が制約を受ける中、ポスターの募集数が前年を上回ったのは、喜ばしい。論文コンクールも開催することができたので良かった。
- ・ 小学校・中学校のうちから自発的に政治や選挙について興味を持つように促す活動が大変良いと思う。

４ 「令和３年度京都市明るい選挙推進事業計画」について

- ・ 若者有権者向けの取組も多数計画されており、大変興味深かった。
- ・ 今年は衆議院議員等選挙が予定されているが、コロナの影響もあり周知が行き届かないことも懸念される。特に選挙権を持ったばかりの１８歳には、周知の徹底をしていただきたい。

⇒（今後の方針）

新有権者の皆様に選挙について知っていただけるよう、大学コンソーシアムや教育委員会とも連携しながら、周知の徹底を図ります。

５ その他、御意見等

- ・ 新有権者向けページの「知ッテル！？選挙」について、子ども向けページの「選挙フレンズ」に比べ、絵や色が少なく非常にシンプルである。対象が高校生以上であっても、絵や色で興味を引くことは重要だと思う。また、内容を動画にまとめて掲載するなどの方法も有効かと思う。

⇒（今後の方針）

予算等の関係上、大幅な改修は難しいですが、より関心を引くページになるよう工夫してまいります。

- ・ 秋までに行われる解散総選挙において有権者の関心を一層高めてもらいたい。

⇒（今後の方針）

印刷物の発行やホームページによる情報発信などの方法により、あらゆる機会を捉えて啓発活動を推進してまいります。